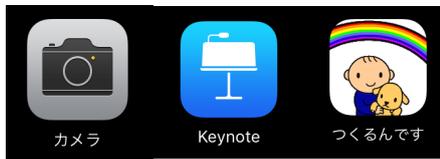


インタラクティブな教材作成

使用アプリ：「Keynote」「カメラ」「つくるんです」

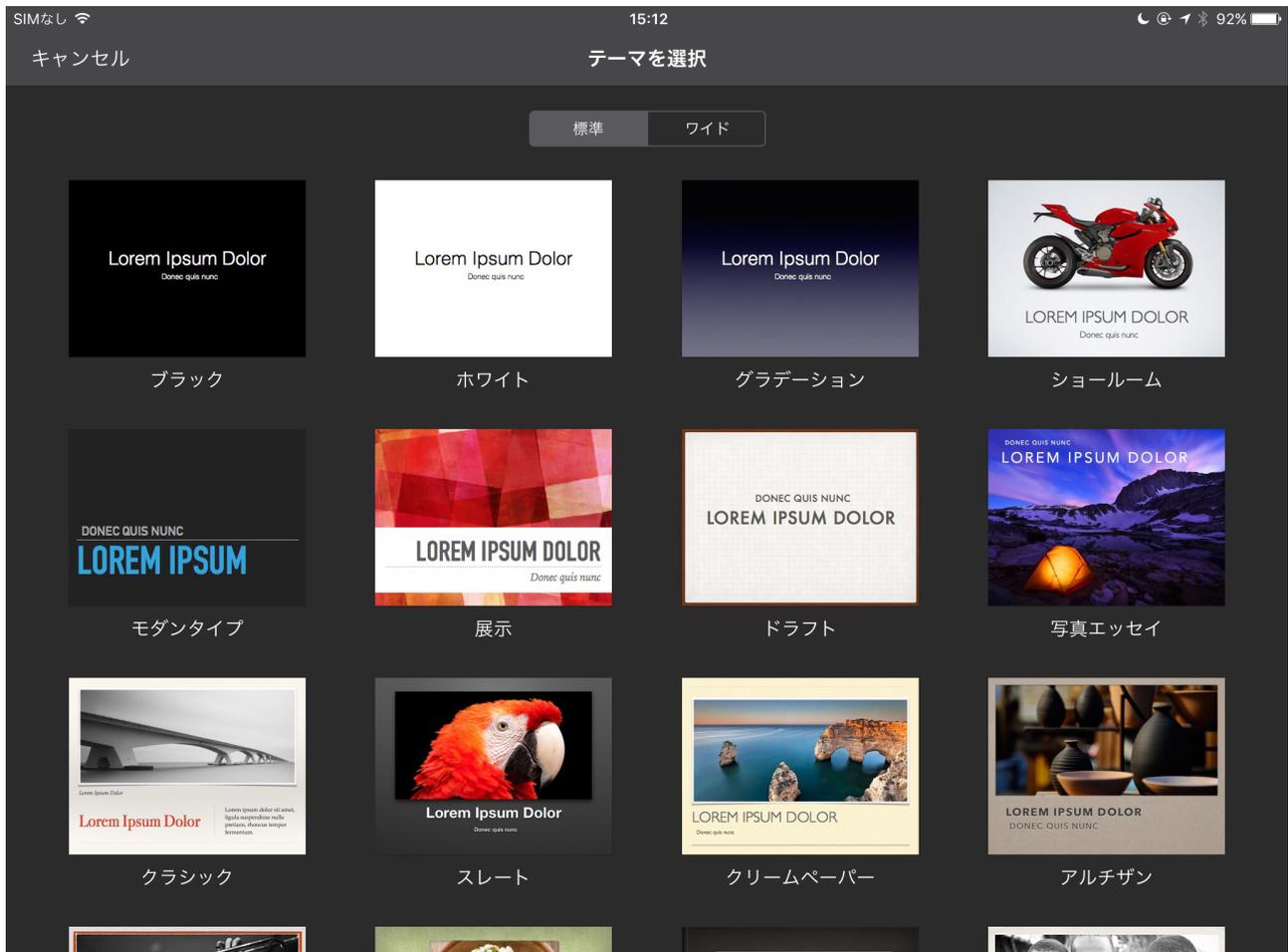


1 カメラアプリを起動して、動画を撮影する。

- (1) 紙に「○」「×」を書いたものを用意する。
- (2) 次に、それぞれをビデオで写しながら、「大正解!」「残念!」等の声を録音する。
- (3) このビデオは、音声のみの使用なので、そのビデオが「○」「×」どちらのビデオかわかるように撮影できていれば良い。

2 Keynote で問題を作成する。

- (1) Keynote を開き、右上の+ボタンを押す。
- (2) テーマを選択する。(Mac の Keynote だと、後からテーマを変更することが可能)



(3) スライドの1枚目に、タイトルを入力する。



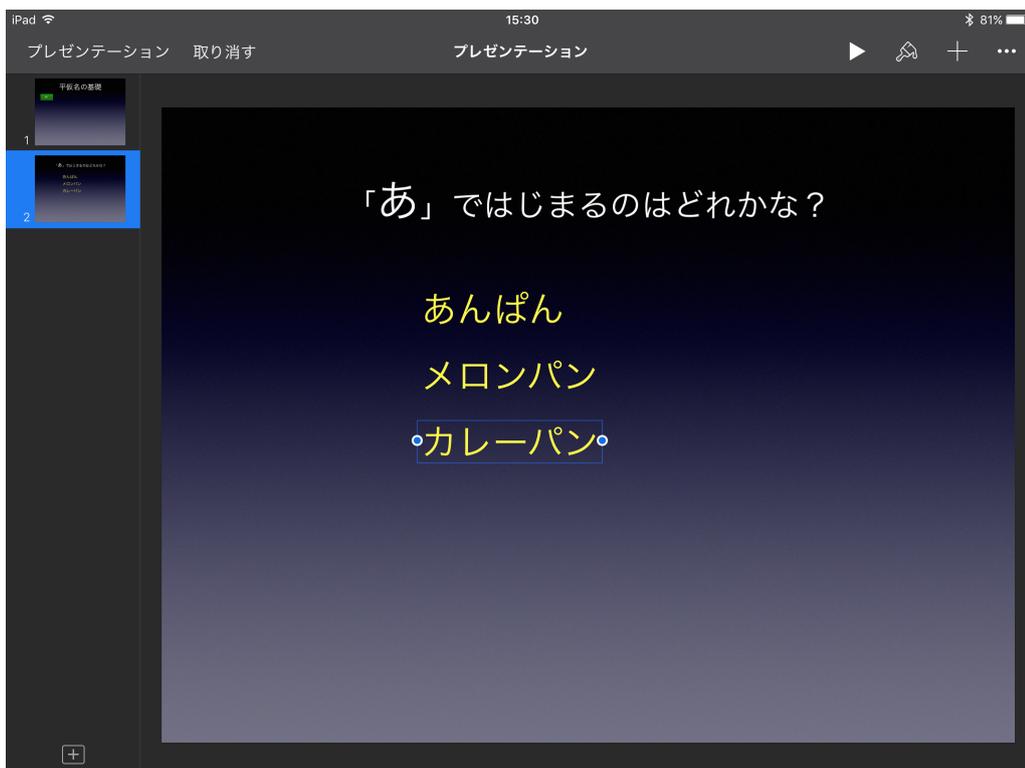
(4) 右上の+ボタンを押して、図形を挿入し、問題名（問題番号）を入力する。
(ハケのボタンを押すと、フォントや文字の大きさをかえることができます。)





(5) 左下の+ボタンを押し、新しいスライドを挿入して問題を作成する。
(選択問題なので、選択肢のある問題に)

(6) 右上のプラスボタンを押してテキストを追加し、選択肢を作成する。
(写真を追加することもできます。)



※この時、一つ目の選択肢（あんばん）を作成した後に、その選択肢をコピーして貼り付けて新たな選択肢（メロンパンやカレーパン）を打ちなおすと、文字の大きさなどの設定が同じ選択肢を複数作ることができます。

3 「つくるんです」を使って、正解と不正解の画面を作成する。

コピー 貼り付け 全部消す 削除 最前面へ 保存 透過

2-2. 状態、様子

はい いいえ ○ ×

上 下 前 後

同じ そして 大きい 小さい

多い 少ない 長い 短い

人、動植物 動き、様子 飲食物 家の中 家の外 文化、社会 写真選択

コピー 貼り付け 全部消す 削除 最前面へ 保存 透過

2-2. 状態、様子

はい いいえ ○ ×

上 下 前 後

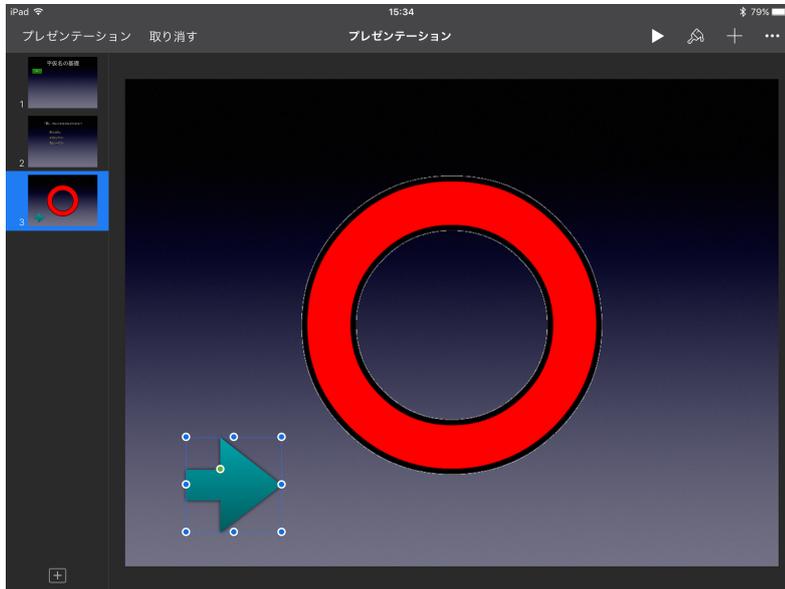
同じ そして 大きい 小さい

多い 少ない 長い 短い

人、動植物 動き、様子 飲食物 家の中 家の外 文化、社会 写真選択

4 Keynote で、「○」「×」のスライドを作成する。

(1) 作るんですで作成した「○」「×」を、左上のコピーを押した後、スライドに貼り付ける。

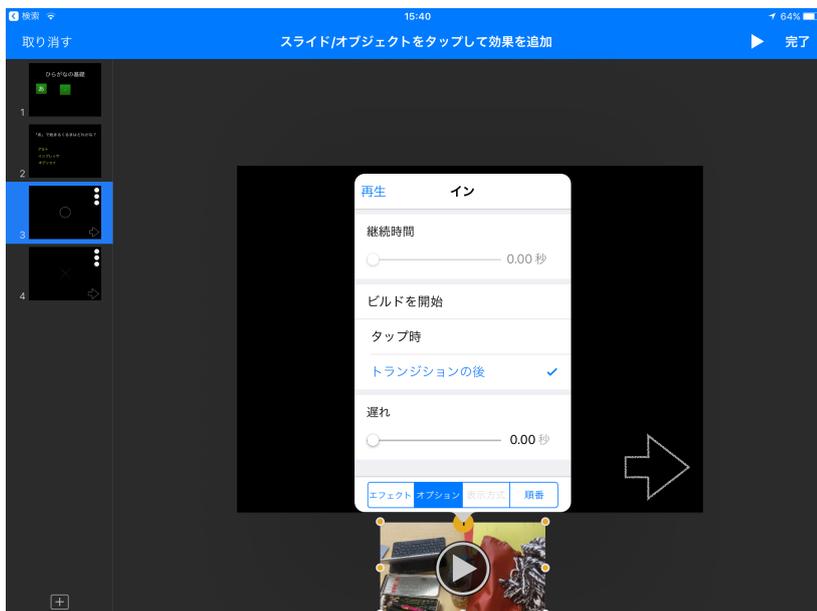


※問題に戻るための矢印ボタンは、右上の+ボタンから作成することができます。

(2) 「○」「×」それぞれのスライドに、最初に作成した声のビデオを挿入します。
(右上の+ボタン → アルバム)

※ビデオは、音声のみの使用なので、スライドの外に配置する。

(3) ビデオを指定し、オプション→トランジションの後 を選択します。
(トランジションとはスライドが切り替わることを示します。)



5 スライドのリンクを設定する

(1) Keynote の、右上の○が3つのボタンを押し、インタラクティブリンクを選択する。

- ・スライドへリンクを選び、どのスライドへ移動するのかを指定する。
- ・問題画面へ戻る矢印ボタンも、同じようにスライドリンクを設定することができます。
- ・この時、「次のスライド」を選択するのではなく、「スライドへリンク」から、スライドの番号を指定することがポイントです。



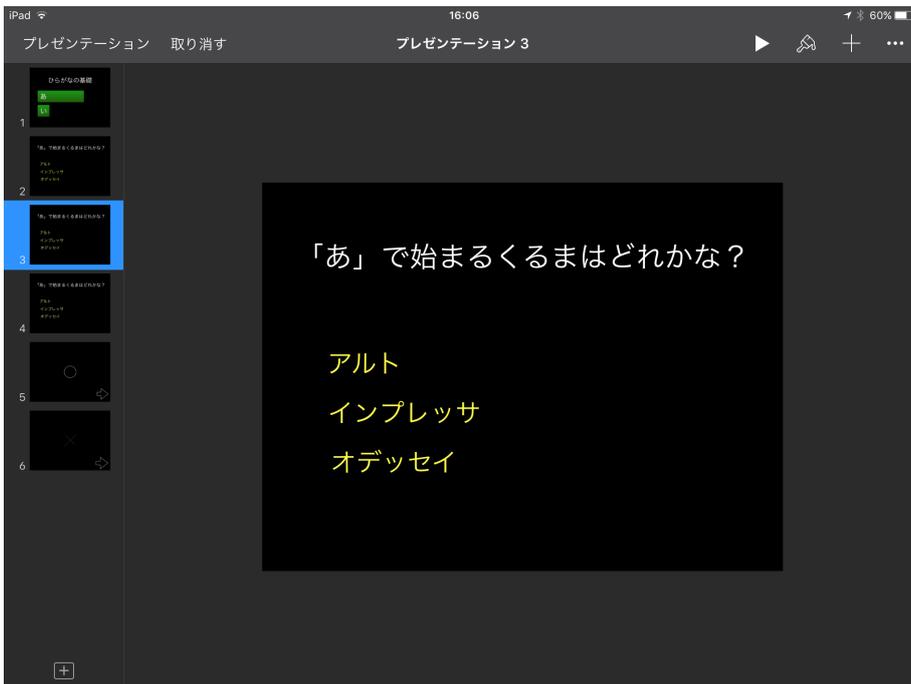


(2) 問題画面も、同じ要領で、○×のスライドヘリンクを貼ります。



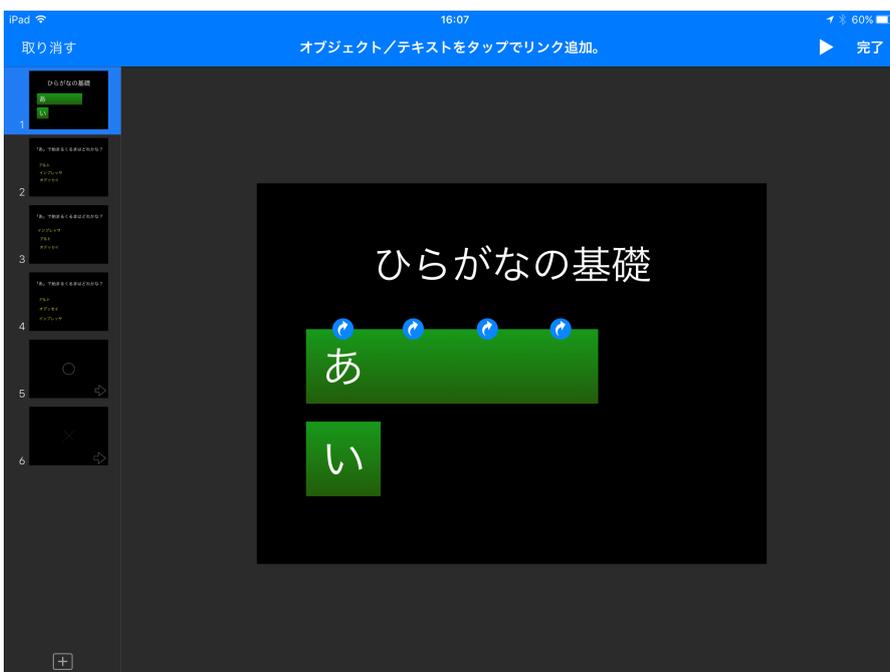
6 選択肢の順番を入れ替える

(1) 左側でスライドを選択し、コピー→貼り付け して、同じスライドを複製する。



(2) 複製したスライドの選択肢の順番を入れ替えます。

(3) 問題画面に戻り、「あ」を コピー→貼り付け して、同じものをいくつか作成する。
・一つのボタンに見えるように、くっつけます（影を無くしたりすると、同じボタンに見えるようになります。）



(4) 一つずつのスライドのリンク先をスライドリンクの設定で変えることで、「あ」のボタンを押す位置次第で、選択肢の順番の違うスライドへ移動することができます。